

令和〇〇年(家ホ)第〇〇号  
原告 〇〇〇〇  
被告 〇〇〇〇

### 証拠説明書(記載例)

令和〇年〇月〇日

札幌家庭裁判所 人訴〇係 御中

原告 〇〇〇〇 印

号証	標目 (原本・写しの別) (撮影場所・撮影対象)	作成年月日 (撮影年月日)	作成者 (撮影者)	立証趣旨	備考
甲1	戸籍全部事項証明 原本 撮影場所・撮影対象	R3.2.10	札幌市〇〇 区長〇〇〇 〇	当事者の婚姻関係等	
甲2	写真 撮影場所〇〇〇 撮影対象 被告及び訴外〇〇	R5.10.1	原告	被告及び訴外〇〇が平成26年10月1日に〇〇〇ホテルに宿泊した事実。両名が同ホテルで不貞行為に及んだことが推認される。	
甲3	メール画面(件名「〇〇 〇」)を印刷した書面 メールの作成日	R5.12.10	被告 メールの作成者	被告が訴外〇〇に対して送信した平成26年12月10日のメールの内容。被告が訴外〇〇に対してクリスマスデートの約束を取りつけようとしている。	
甲4	審判書謄本 「謄本」であることを記載してください	R3.6.1	札幌家庭裁判所 裁判所書記官〇〇 〇〇 謄本の作成者	札幌家庭裁判所平成〇年(家)第〇号の婚姻費用分担申立事件における審判内容。原告の年収は〇円、被告の年収は〇円と認定され、被告から原告に対して婚姻費用として月額〇万円の支払が命じられた。	
甲5	総合口座通帳 (〇〇銀行〇〇支店、口座番号〇〇)	写し H26.1.10 ~H27.2.8	〇〇銀行〇 〇支店	原告の〇〇銀行〇〇支店口座番号〇〇の口座の平成27年1月20日時点の預金額。なお、平成27年1月12日の原告母からの振込は、亡原告父の遺産であり、原告の特有財産である。	
甲6	総合口座通帳 (〇〇銀行〇〇支店、口座番号△△)	写し H26.1.5 ~27.2.18	〇〇銀行〇 〇支店	被告の〇〇銀行〇〇支店口座番号△△の口座の平成27年1月20日時点の預金額	
甲7の1	催告書(内容証明郵便)	写し H28.1.10	原告	被告に対して、甲4号証で定められた婚姻費用の支払いを督促した事実。この時点で滞納額は半年分にも及んでおり、悪意の遺棄と評価すべきである。	
甲7の2	配達証明書	原本 H28.1.15	〇〇郵便局	甲7号証の1の文書が被告に対して配達された事実	

号証 甲5と甲6の特定要素を追記記載しますので口座番号

証拠説明書を記載した際には枝番ごとに証

文書名を正確に記載してください

写しではなく原本になります

メールの作成日

謄本の作成日(認証日)

「謄本」であることを記載してください

謄本の作成者

取引日で特定した記載例

内容証明郵便で送付した場合はその旨記載してください

立証趣旨はできるだけ具体的に記載します